

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (東海)		商店街（代表者）	お客様の様子	・客の表情が良くなっている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・5月前半に行われた全国菓子大博覧会には多くの来訪者があり活況であった。観光地にも例年を上回る来客数があり、経済効果が大きい。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量の動きが良い。問い合わせも多く商用車も趣味の車も売れて、とにかく良い。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	それ以外	・有効求人倍率の上昇とともに、より条件の良い職場への転職が増加している。福祉業界以外に製造業等への転職者も増加していることから、産業界全般での景気の良さが見受けられる。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・全国菓子大博覧会があったことで、客の購買意欲が高くなっている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・本年度になって、じわじわと販売量が増えている。前月に続いて5月も前年同月を上回っている。増加ではあるが微増であり、予断を許さない状況は続いている。
		百貨店（経理担当）	お客様の様子	・生活用品や食品等の日常的な消費には、依然として節約志向が続いているが、旅行や娯楽等の非日常的な消費については、積極的な姿勢が見受けられ、上向き傾向にある。
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・例年より気温が高く、初夏の衣料品等の動きが顕著である。化粧品等を中心にインバウンドも好調を維持している。
		百貨店（販売担当）	販売量の動き	・売上が前年同期比で伸びている。特に、高級ブランドや宝飾品等の伸びが大きい。株価の上昇が高価格帯商品の売上増加の一因である。
		百貨店（計画担当）	来客数の動き	・近隣に商業施設が新規開業して以降、買い回りで来客数が増加している。特に食品の売上が好調に推移している。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・天候が良かったこともあり、来客数が若干増加している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・キャンペーンや売場での品ぞろえの改善で、特にファストフードの売上が5%増加している。継続的に実施している夕・夜間対策で、対象商品の伸びが続いており、前年同期比110%以上の実績である。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・価格が最も安い商品よりも、少し良い物や機能の高い商品を選ぶ客が増えてきている。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・車の売行きには結び付いていないが、客との会話では旅行の話や外食の話が増え、生活を楽しんでいる様子がうかがえる。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・まだまだ生活必需品が中心ではあるが、購買意欲は上昇している。
		高級レストラン（役員）	来客数の動き	・来客数が増え、月次の売上高も連続して前年同期を上回っている。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・政治に対する不安感が少し払拭され、段々と元の状態に戻りつつある。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	お客様の様子	・雇用情勢が堅調な上、物価の上昇も限定的なため、客からは何か良い物を購入したいという欲求を感じる。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・ターミナル駅周辺では、オフィスや店舗の集積が高まり昼食難民が出るほどである。飲食店での消費も増えている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・5月は、旅行に出かける人が増加している。大型連休や天候の良い日が続き、行楽、スポーツ、イベントや新規開業のレジャー施設等の話題が多く聞かれ、余暇への支出は増加している。
	美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・キャンペーンの効果で、購入客が多くなっている。	
	商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数は横ばいであるが、客は必要な物以外は買わない。客単価が上昇しないため、販売量や売上高の改善につながっていない。	

商店街（代表者）	販売量の動き	・全体的に低価格な状況は変わらないが、販売エリアによって格差が出ている。ターミナル駅地域は非常に好調だが、同じ交通拠点の空港売店の売上は減少している。量販店の売上は横ばいで、全体としては変化はない。
一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・高価格帯の商品の客から感じる景況感是不変。社会全体では、政治に対する不透明感が悪影響を与えている。
一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・母の日の来客数、販売量共に、前年とほぼ同じであった。最近はこういった傾向が変わらず続いている。
一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・処方箋調剤部門は順調だが、店頭販売商品等の売上は、過去の半分まで落ち込んでいる。駅前立地の店舗は、週末が特に閑散として商売にならない。季節としても中途半端で、3か月前より落ち込む時期となる。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・5月は売上、来客数共に変わらない状況である。世の中が二極化しており、調子の良い客がけん引して売上が伸びている一方で、非常に厳しく節約している客もいる。ギフト需要としては、伸びている客と、付き合いの幅を狭める客がバランスし、良いとも悪いともいえない。
一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・新年度になってからの受注が例年に比べ伸びず、出足が鈍いように感じる。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・ゴールデンウィークは来客数も多く購入客も多かったが、それ以降は、ランチのついでに売場に寄って商品を見る人が多く、購入は少ない。父の日の下見もあるが、その場では購入しない。ネット購入の下見に来店し試着だけして帰る人が多く、売上としては厳しい。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・宝飾品等の展示会での客の反応は良いが、衣料品が中心の店頭では、厳しい状況が続いている。
百貨店（販売担当）	単価の動き	・1か月の間で浮き沈みがあり、客足は安定しない。ゴールデンウィークは新しい商業施設へ流れたが、後半はボーナス支給を見込んだ下見や購入が増え、高額商品の需要が高まっている。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・5月の景気は全体的には安定して良い方向に向かっている。相変わらず人手不足で、サービス業や小売業は特に困っている。中小企業は利益が増えず時給も上げられないため、コンビニエンスストアでは経営者や店長にしわ寄せがいき、長時間労働となっている。
スーパー（店長）	単価の動き	・最近、商圏内に同じチェーンの新店舗が出店し、売上は5%ほど減少しているが、客単価は回復しつつある。商圏は少し狭まったが、客の動きからは、景気が下向きとは感じられない。
スーパー（店員）	販売量の動き	・連休は外食をする人が多く、売上は弱含みである。気温が高めなことでも肉料理を避ける傾向となり、めん類等のあっさりとした比較的安価な食材が主流となっている。
スーパー（店員）	販売量の動き	・販売量が増えない。価格が安い時だけ購入する客が多く、なかなか数量には結び付かない。
スーパー（販売促進担当）	単価の動き	・来客数は前年同期比で94%と5月も前年並みを達成できず、悪いままである。
スーパー（人事担当）	お客様の様子	・普段の買物において、客は店を選んで購入する傾向が強くなっている。
スーパー（ブロック長）	お客様の様子	・アニサキスの報道で鮮魚や総菜部門の売上に影響が続いている。酒税法の改正で値上げ前の駆け込み需要を期待したが、特に大きな動きはなく、値上げの情報が伝わっていない気がする。
コンビニ（企画担当）	単価の動き	・客単価が上向きである。
コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・販売量、来客数共に減少傾向にある。前年割れをしている店舗が多い。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・客単価は、たばこの販売が減少している影響で少し下落傾向である。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・天候に恵まれたこともあり、冷めんやおにぎり等の販売が好調である。セールを行い、セール品の売上は良く伸びているが、セールがなかったらそれほど良くはなかった。

	コンビニ(店長)	来客数の動き	・近隣の競合店が改装中で2週間閉鎖しているため、来客数は多少増加しているが、全体的には変わらない。
	衣料品専門店 [紳士服洋品] (売場担当)	お客様の様子	・洋服を見に来る客はあっても、購入には至らない。以前のように、質が良ければ高額でも購入することはなくなっている。
	家電量販店(店員)	来客数の動き	・景気が上向きとは思えない。3か月前に比べても良くなっているとは感じない。
	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・新車を購入する客の動きは落ち着いてきたが、必要な車両整備は、先送りせずに実施する客が増えてきている。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・店舗の販売台数は前年同期比90%で推移している。会社全体でも前年並みの販売台数である。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・ゴールデンウィーク後の店頭の様子は、弱含みで推移している。客には休み疲れなのか疲労感があり、商談でも緊張感が乏しい。主力車種がマイナーチェンジの予定で様子見の客もあり、営業の現場には活気がない。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新車販売は前年比100%を超えて好調であるが、工場への在庫数が前年比、目標値共に下回っているため、全体としては良くも悪くもない状況である。
	住関連専門店 (営業担当)	単価の動き	・新築住宅、マンション共に販売が伸びていない。中古物件は売買価格が高止まりで、買換えに時間を要しているオーナーが多い。住宅リフォーム、マンションのリノベーションや大規模改修等は増加している。
	その他小売 [ショッピングセンター](経理担当)	販売量の動き	・売上高は前年比0.6%の増加、来客数は同じく1.3%の減少で推移している。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・中高年層の消費マインドは多少上向きであるが、将来の不安要素は消えていないため、節約ムードは払拭できない。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・今年に入り人の流れがますます鈍くなっている。繁華街であっても交通の便が良くないので心配している。
	観光型ホテル (販売担当)	来客数の動き	・今年のゴールデンウィークは、日並びの影響で特に書き入れ時とはならなかった。宿泊、食堂共に前年同期比で減少し、期間内のイベントは前年比30%減少とさっぱりであった。
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・予約のリードタイムが短くなっており、先が読めない。しかし、結果的には前年並みの状況となっている。
	都市型ホテル (支配人)	販売量の動き	・新規ホテルの開業により、宿泊客は前年比で減少が続いている。レストランも同様であるが、宴会部門は、前年比横ばいである。
	都市型ホテル (営業担当)	お客様の様子	・予約の入り方や客単価は変わらず業況は順調であるが、客の話を聞くと今後は悪くなる可能性があるとの声があり、景気が良いのが悪いのかわからない。
	旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・夏に向けて購買意欲には高まりを感じるが、まだ前年並みには至っていない。
	旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・夏休みや9月の大型連休の問い合わせが多くなっている。客にとっては、商品の質も重要だが、決め手としては、やはり価格が重要となっている。標準的な価格はわかっているようだが、予算を決めているので要望に合わせる事が難しい。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月前半は、大型連休で日中は結婚式やショッピング等の乗車客があったが、夜の飲み屋街の客は少なかった。連休明けも、連休中の出費のせいか悪かったが、後半は徐々に客足が戻ってきている。最近暑い日もあり利用が伸びており、全体的には今月も前年並みとなっている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・長い間、繁華街の人出が少ない。飲み屋の経営者でも愚痴をこぼす人が多い。
	通信会社(企画担当)	販売量の動き	・感触としてはさほど悪くないが、新規契約が減少し解約は増加しており、実態としてはあまり良くない。
	テーマパーク職員(総務担当)	単価の動き	・園内消費での客単価に変動がない。
	ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・5月の来客数は前年より少し悪く、予算も達成できない状況である。しかし、もう少しで前年同期及び予算をクリアできそうなゴルフ場も多いので、景気としてはあまり変わっていない。

その他レジャー施設 [鉄道会社] (職員)	来客数の動き	・入学シーズンも終わり、一時的に通学客が増えたものの、平常時に戻っている。
美容室 (経営者)	お客様の様子	・連休があったが、客の様子を見ると、あまり出かかず何も予定がなかった人が多く、あまり景気は良くない。
美容室 (経営者)	お客様の様子	・天候によって客の動きが変わる。
その他サービス [介護サービス] (職員)	競争相手の様子	・福祉用具のレンタル市場では価格競争が続いている。特に保険外レンタルにおいては顕著で、供給量は不足しているが市場価格が上昇していない。
設計事務所 (経営者)	お客様の様子	・企業向け案件に関しては、住宅性能評価や省エネ申請等、直接の設計の仕事ではなく、二次的な仕事にシフトしている。
設計事務所 (職員)	お客様の様子	・地下鉄の中吊り広告等は、やや多くなっている。
住宅販売会社 (経営者)	競争相手の様子	・競争相手でも売行きが3割ほど減少している。
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・販売量には大きな動きはみられない。
住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・リフォームを希望する客は多いが、新築には消極的である。
その他住宅 [不動産賃貸及び売買] (経営者)	お客様の様子	・少しずつではあるが、売却物件の相談は増加傾向である。
商店街 (代表者)	お客様の様子	・財布のひもは固い。
商店街 (代表者)	販売量の動き	・60歳以上の客が多いが、最近の製品は機能が複雑で、新たに買換えるメリットをなかなか理解してもらえない。故障するまで使うという人が多く、増販は難しい。
一般小売店 [酒類] (経営者)	来客数の動き	・前年以上に平日の飲食店への客足が悪く、来客数がゼロの店があるため、アルコールの販売も減少している。
百貨店 (売場主任)	来客数の動き	・大型商業施設のオープンにより、来客数が減少している。
百貨店 (販売促進担当)	来客数の動き	・インバウンドの伸びも一段落して収束し、高額品の動きも前年に比べて鈍くなっている。
百貨店 (販売担当)	販売量の動き	・今月後半にはやや盛り返したが、ゴールデンウィークの売上には伸びが感じられなかった。
スーパー (経営者)	お客様の様子	・中小小売店ではじわじわと売上が減少し、業況は徐々に悪くなっている。
スーパー (商品開発担当)	販売量の動き	・売上は3か月前と比べて1.5%ほど減少し、来客数も0.5%ほど減少している。
スーパー (販売担当)	来客数の動き	・周辺に新しい店がオープンしたわけでもないのに、来客数が減少している。
スーパー (営業企画)	単価の動き	・客単価の低下が要因で、アップグレード業態の店舗が前年同期と比べて低迷している。
スーパー (販売担当)	販売量の動き	・母の日以降、原因不明の売上低迷が続いている。ここ数か月は売上予算達成が続いていたが、5月は未達となっている。
スーパー (企画・経営担当)	来客数の動き	・来客数がやや減少しており、それに伴って販売量も減少傾向である。
コンビニ (店長)	販売量の動き	・宝くじの売上が今回は非常に悪い。自由に使える金が減ってきている。
乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・2～3月の繁忙期に比べると販売量は減少している。特にゴールデンウィークを挟むこの期間は、動きが悪い。
その他専門店 [雑貨] (店長)	来客数の動き	・近隣百貨店の増床で、3か月前には開店前の準備や期待感により街全体への集客効果が感じられたが、この1か月は落ち着いてきている。最近是中国からの客も少なくなっている。
その他専門店 [書籍] (店員)	来客数の動き	・今月前半は大型連休の企業が多く、天候に恵まれたこともあり客足が遠のき、前年同月よりも売上が減少している。
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・自営業、サラリーマンにかかわらず、小遣いが減って外に飲みに行くことが難しくなっている。
観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・昼食、夕食は地元客の需要で、宿泊は県外からの需要であるが、昼食、夕食需要が前年同期比で15%ほど減少している。

	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・引っ越しシーズンも終わり客からの入電数は落ち着いている。光回線の申込も減少し、料金の見直し等の問い合わせが増えている。無駄な出費を少しでも抑えようとしている。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・年度初めで、販売量の動きが悪くなっている。
	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・日本人の客が少ない。
	理美容室（経営者）	来客数の動き	・5月は休みが多いため、来客数が減少している。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・7～8割が女性客であり、地域からの若い女性の流出に歯止めがかからないため、かなりの影響がある。
	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	お客様の様子	・最近是一般家庭でもセキュリティに対する意識が高く、防犯カメラや人感センサーライト等の設置の仕事が増えているが、安価な商品と比べられて苦戦している。景気が回復しているという実感はない。
x	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・個人消費の状況は最悪である。
x	衣料品専門店（販売企画担当）	お客様の様子	・動きのある商品は限られている。毎年定番の物はある程度流れているが、その他の企画商品の動きが止まっている。
x	一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク明けから来客数が減少している。
x	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数や単価の動きが悪くなっている。
x	理容室（経営者）	お客様の様子	・最近、高齢者の客も安い店に流れていく。
企業動向関連 (東海)	*	*	*
	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・気温の上昇に伴い受注も活発になりつつある。特に冷蔵関係では話題性のある新商品の投入もあり、今後にも期待もてる。
	化学工業（人事担当）	それ以外	・近隣では新築一戸建てや建て売り住宅が増え、売行きも好調なようである。不動産の売却物件を募集するチラシも増えている。
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・為替の変動等の不安要因はあるものの、ある程度想定内の動きであり、業務への影響が出るほどではない。
	電気機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・ケーブルテレビ事業者は、来年から始まる4K、8K放送への対応で伝送路の光化や広帯域化が急務のため、設備投資が盛んになりつつある。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物の荷動きが前年同期比で4.2%の増加と良くなっている。
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・輸入貨物がやや増加し、輸出がやや減少している。
	通信会社（法人営業担当）	それ以外	・休日の行楽地は、これまでは給料日前後で明らかに人出が違い、給料日後は3割増しの印象であったが、ここ数か月は給料日の前後でもさほど差がなく、全体的に人出が多くなっている。
	通信会社（法人営業担当）	それ以外	・近くの飲食店では、パートの時給が50円アップしている。他にも同様の話を聞いている。
	行政書士	受注量や販売量の動き	・貨物の荷動きが良い。
	会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・客先では受注量が増え、残業が増えている。売上が伸び、赤字が縮小している客も多くなってきている。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	取引先の様子	・客先の受託状況が活況で要員不足となっており、追加要員を毎月継続的に供給している。
	食料品製造業（営業担当）	取引先の様子	・主に中小企業の受注が減っており、受注数が伸びない。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に、ここ数か月は横ばいが続いており、景気は変わらない。
	化学工業（総務秘書）	それ以外	・相変わらず良好な状況が続いている。企業の配当は過去最高水準で、労働者への還元は少ないといわれているが、最近では昇給もあり、労働者の懐はそれほど寂しくないはずである。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量はほぼ変わらず、販売単価も引き続き低下傾向にある。

	金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・今年度は仕事量に期待できないという見方が広がっているため、少ない仕事に群がり安値の横行が懸念される。
	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米自動車業界向けの引き合いや問い合わせは増えており、雰囲気は悪くないが、受注までには至らない案件が多い。設備投資の意欲はあるが、実際の発注となると慎重な姿勢が目立つ。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・全体的にはさほど良くは感じられないが、工作機械、自動車関係等、限られた業種については好調を維持している。
	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・特に景気の良い話もなければ、悪い話も聞かない。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・低金利でマンション、戸建住宅共に順調な売行きを維持している。
	建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・下水道の工事は地域ごとに団体で発注があるので、仕事量の変動が大きい。需要の安定した接続工程の工事には、今のところ参入していない。
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここ数か月、国内物流は前年同期比で微増が続いている。輸入については、大幅に増加した前月からは微減であるが、好調といえる範囲に回復している。
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・緩やかに景気が回復していると報道されているが、輸送物量に大きな増減はなく、国内物流の動向からは実感できない。大手宅配業者を始め個人向け通販物流は増加しているが、特積み業界に大きな影響はない。労働時間の問題等、運輸業界に対する荷主の理解は以前に比べて得られてきている。
	輸送業（エリア担当）	それ以外	・飲食店の話では、来客数は増加しているが、接待での利用は頭打ちで大金を使う客はなく、1人当たり単価はそこそこである。
	金融業（企画担当）	取引先の様子	・株も為替も動きが少なく、個人投資家は様子見を決め込んでいる。資産効果も薄く、状況は3か月前と変わらない。
	不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・ここ数か月大きな変動はない。
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・企業に提案しているイベント等の企画案が、なかなか形になって実現しない。
	公認会計士	それ以外	・客先の中小企業の業績は改善しておらず、むしろ収益性が低下している会社が多い。従業員の給与も上昇していない。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・低金利が続く、設備投資の検討や実施をする会社が目立ち始めているが、設備投資の効果が業績に反映されている会社は少ない。無駄な設備投資が業績悪化を招いている会社も見受けられる。
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・ゴールデンウィーク明けから短期の仕事が増え、好調に推移しているが先の予約は少ない。北朝鮮問題等、外的要因で少し円高になっているが、石油価格はそれほど上昇しておらず、我が国の経済としては、良い状態が続いている。
	窯業・土石製品製造業（社員）	受注価格や販売価格の動き	・新規見積案件が多くなっているが、受注率は低下している。複数社から同じ案件に関する見積依頼が来ており、競争が激しくなっている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客先の業界での規制や娯楽の多様化等により、施設数は全体として減少している。設備関係の投資額が減るなかで、今年度は当社の製品分野以外へ投資する傾向にあり、売上が期待できない。
	輸送用機械器具製造業（デザイン担当）	取引先の様子	・客が販売アイテムを絞る方向性を示している。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・5月は稼働日数が少ないが、稼働日数を割り引いたとしても、売上は3か月前より10%減少している。
	金融業（従業員）	取引先の様子	・地域には自動車や関連部品産業が多いが、生産量は横ばい、又はやや減少という話が多い。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・新聞の折込料収入が、前月に比べて2割落ちている。
×	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年4～6月は、販売量が前月から10%ほど減少するが、今年は落ち込み幅が15%程度で推移している。
×	電気機械器具製造業（営業担当）	それ以外	・パチンコ関連の売上が落ちている。

雇用 関連 (東海)	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・県内企業では、特に製造業の求人数が増えてきている。人手不足感が更に高まり、求職者にとっては転職市場が拡大し、転職意欲が高まっている。
	人材派遣会社 (支店長)	採用者数の動き	・人材派遣のニーズは堅調に推移している。長期派遣の就業者数は、3か月前比で103%、前年同月比では111%の増加と順調に拡大している。
	人材派遣会社 (経営者)	採用者数の動き	・企業の採用活動が活発となり、管理職向けの求人が増加傾向にある。
	人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・株価が安定している。
	アウトソーシング企業(エリア担当)	採用者数の動き	・客先では、次の増産時期を見据えて、徐々に雇用者数を増やす動きがある。
	職業安定所(所長)	求職者数の動き	・求職者数は前年同月比で1割程度減少している一方で、企業では、業務量の増加に雇用を増やしても対応を迫られている。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・地元の祭りのため、ゴールデンウィークの利用は少なかった。今月後半からは回復し、例年並みとなっている。
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・求職者に求人企業を紹介しても反応が鈍い。
	新聞社[求人広告](営業担当)	周辺企業の様子	・話を聞く限り昇給やボーナス等の状況は悪くないにもかかわらず、個人消費の増加には結びついておらず、ほとんど変化を感じない。
	新聞社[求人広告](営業担当)	求人数の動き	・求人件数は若干増えている。求人募集を掲載しても業種によって反応が鈍く、人手不足が定着している。求人状況にみられるほど、景気は上昇傾向とはなっていない。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・4月の有効求人倍率は3月から横ばいである。
	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・仕事はそこそこあるが、利益が伴わないものも多いため、景気の回復をあまり感じられないという企業が多い。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は、建設、運輸を始め飲食、福祉やサービス業等で幅広く増加している。
	民間職業紹介機関(支社長)	求人数の動き	・前年4月以降、面接を受けた人の内定率が高位で安定している。企業の採用意欲の高さの表れである。
	民間職業紹介機関(窓口担当)	求職者数の動き	・求職者数は変わらないが、未経験の若年者や扶養枠内での就業希望者が多く、企業の求人要件とマッチングしにくい。
	民間職業紹介機関(営業担当)	採用者数の動き	・新卒、中途採用共に動きがあり、各社で優秀な人材を確保するためしのぎを削っている。就職決定者数には、大きな変化はない。
		*	*
x	-	-	-